

平成29年度 国立大隅青少年自然の家 教育事業 おおすみくん家 スポーツキャンプ ～バスケットボール～

- 1 趣 旨 鹿屋体育大学との連携協力協定に基づき、コミュニケーション能力の向上によるチーム作りや、青少年の体力・運動能力を踏まえたトレーニング法によるスポーツ技術の向上を図ることによって、青少年のスポーツ振興及び体力の向上を目指す。
- 2 期 日 平成30年2月24日（土）～25日（日） 1泊2日
- 3 対 象 者 中学校のバスケットボールチーム及び指導者、保護者
- 4 募集定員 80人
- 5 参 加 者 85人（中学生のみ） 指導者・顧問等6人
鹿屋体育大学関係者16人（監督1人 バスケットボール部員15人）
- 6 指 導 者 国立大学法人 鹿屋体育大学女子バスケットボール部監督 木葉 一総 氏
国立大学法人 鹿屋体育大学女子バスケットボール部員
国立大隅青少年自然の家 職員

7 日程と主な活動

2月24日（土）		2月25日（日）	
9:00	受付（鹿屋体育大学）	6:00	起床・清掃・荷物移動
9:15	出合いのつどい	7:00	朝のつどい
9:30	【練習 1】 シュート チームプレイ	8:00	朝食
12:00	昼食（各自持参）	8:45	準備
13:00	【練習 2】 シュート チームプレイ	9:00	【練習 3】 ドリブル ハンドリング
16:00	練習終了	12:00	昼食（弁当）
16:20	大隅青少年自然の家へ移動	13:00	【練習 4】 ドリブル ハンドリング
17:00	オリエンテーション	15:00	練習終了
18:00	夕食 入浴	15:15	別れのつどい
20:00	講義（指導者向け：交流会） 学習の時間（生徒）	15:30	解散（国立大隅青少年自然の家）
22:00	就寝		

8 事業運営上の配慮

- (1) 練習では、少人数のグルーピングを行い、中学生一人一人が大学生の一流のプレーを間近で見たり、アドバイスを受けられたりできるよう配慮した。
- (2) 1日目は、鹿屋体育大学総合体育館（主体育室）を利用し、シュート練習やチームプレイの確認を行った。2日目は、会場の都合により、自然の家のプレイホールでドリブルやハンドリングに重きを置いた練習を行った。



9 参加者の感想

- バスケットの楽しさを改めて知り、他中の人とも仲良くなれて、チームメイトの新たな一面を知ることができ、自分の力となるが多かった。(中学生)
- なかなか大学生から教わるという機会はないので、貴重な体験でした。具体的にこんな風になりたいと思えたことはすばらしく、参加して良かったです。(中学校指導者)

10 成 果

- スポーツを行う中では、コミュニケーションをとることが大切であることを指導された中学生は、大きな声での確認や指示を互いに行っていた。
- 全国上位に位置する大学チームからの直接指導を受けられたことで、「バスケットボールについての知識や技術を深いものにすることができた。」といった感想が寄せられ、中学生及び指導者共に満足度が高かった。

